

## 田村明比古委員 意見

「立山黒部」世界ブランド化の推進に向けて、各種施策が着実に取り組まれていると感じている。この度の立山駅・美女平間のロープウェイ整備を優先するとの方向性についても、ケーブルカーの老朽化等を踏まえ、環境や景観に配慮するとの考えに基づくものであり、妥当な判断であると考えている。

なお、関連するハードウェアの整備を進めるに当たっては、ロープウェイのみならず、携帯電話の基地局や称名滝周辺へのバリアフリー車両導入なども含めて、しっかりとブランドコンセプトを踏まえ、デザインや運営の仕方についても、環境や景観に配慮したものとすべきと考える。豊かな自然環境の中で、突如、違和感のある構造物が現れるようなデザインは避けるべきである。

こうした取り組みは、多少コストがかかることにはなるが、トータルで見るときに、エコのテーマパークのような統一感につながり、立山黒部にとっての価値あるブランドとなるものである。様々な滞在プログラム・ツアーなどもこうしたブランドコンセプトに沿って整備を図ることで内容がグレードアップしていくだろう。

また、新しいマーケット（欧米豪等）での認知度向上に関して、トリップアドバイザーを活用しているとのことだが、できることなら、それぞれの国に合わせた文章力のあるライターに執筆いただき、魅力を発信していただければより効果があるのではないかと考える。発信媒体もインターネットのみならず、ターゲット層に合わせた媒体を選択することで、より効果が発揮されると考える。

あわせて、富山県にとって、「既存宿泊施設の高付加価値化、ハイグレード宿泊施設の整備」は最重要課題の一つであるので、引き続き注力をお願いしたい。